

令和7年度 第3回 大阪市立聖賢小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立聖賢小学校

校 園 長 名 林田 泰治

日 時	令和8年3月16日	
場 所	聖賢小学校 多目的室①	
検 討 者	委員 など	伊藤 春男 (会長) 北出 浩一 (委員) 松田 恭子 (委員) 芳松 裕子 (委員) 4名
	校 園	林田 泰治 (校長) 竹内 由紀子 (教頭) 盛田 滋久 (教諭)
	区役所	堀川 莉奈
議 題	<p>「令和7年度 運営に関する計画」最終評価について</p> <p>(1) 「令和7年度 運営に関する計画」目標別シート1【安全・安心な教育の推進】について</p> <p>(2) 「令和7年度 運営に関する計画」目標別シート2【未来を切り拓くための学力・体力の向上】について</p> <p>(3) 「令和7年度 運営に関する計画」目標別シート3【学びを支える教育環境の充実】について</p>	
	協議の結果	意見の概要
協 議 旨	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合は増え、高学年になるにつれて、低くなっていく傾向がある。</li> <li>・不登校児童の割合は増加してしまった。不登校児童の学力保障として「城東ふらっと」を活用し、登校できるようになっている児童もいる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に最も肯定的に回答する児童の割合は増やすことができなかった。</li> <li>・経年調査の結果は、上がってはいるが大きくは伸びなかった。</li> <li>・令和7年度の全国体力・運動能力の対全国比は、男子が低下し、女子は向上した。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用端末を活用した日数は、目標には達しなかった。</li> <li>・勤務時間の基準1を満たす教員の割合は目標を達成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々、相手を思いやる気持ちが薄れているように感じられるので、来年度は異学年交流の機会を増やし、相手への思いやりの心を育てていくようにするのが学校の役目である。</li> <li>・不登校は、子ども同士の関係、子どもの昼夜逆転、担任と子どもの関係など理由は様々であり、不登校になると手立てが難しいので、不登校になる前に学校には自分の居場所があるという安心感を与えられるようにしてほしい。</li> <li>・不登校児の中には、ネグレクトやヤングケアラーに近い状態の児童もいるが、区役所も認定の判断が難しいことがわかった。</li> <li>・話し合う活動を多く取り入れた授業展開を実施し、もっと子ども達の考えを深められるような発問を出せるように、教材研究をしていく必要がある。</li> <li>・経年調査の結果は、大きくは伸びなかったもので、基礎基本の定着とともに、児童の得手不得手を分析していき、実態に合った指導をしていくことを望む。</li> <li>・体力について男女で大きな差が出たのは、休み時間の過ごし方や習い事など、世代よっての違いが大きいと思われる。</li> <li>・学習者用端末を筆記用具と同様に使えるように、活用方法を考えてほしい。</li> <li>・目標を達成しているが、持ち帰り仕事をしているという課題が残っている現状があることを知った。</li> </ul>
協 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度「運営に関する計画」</li> <li>・令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証</li> </ul>	
備 考	傍聴者 0名	